

「新型コロナウイルス」対策ニュース No.3

2020年3月13日

新型コロナウイルス感染症拡大の影響が、国民生活と企業経営、地域経済へと広がっています。3月5日よりスタートした緊急アンケートにつきましては、すでに150件の回答をお寄せいただき、皆様のご協力に感謝するとともに、関心と不安感と危機感の大きさを実感します。

アンケート結果は近日中にご報告し、同時にプレスリリースを予定しています。ご回答がまだの方は、ぜひFAXまたはグーグルフォームにて回答ねがいます。 <https://forms.gle/TZZgVD7+IAKj7zCF8>

今号では、いま中小企業家がまず打つ手立て、持つべき考え方についてお送りします。



1. まずは自社の状況把握から！ その上ですべき手立てを考えよう、相談しよう

「新型コロナウイルス」対策ニュース No2 の吉田敬一先生のご指摘にもあるように、「今後1年間は危機的な状況が続くことを想定してみる」ことが必要です。宮崎同友会の創立メンバーで、三十年余にわたり税理士業務などを通じて、多くの事業再生の相談に乗ってきた中村健一郎氏から、新型コロナウイルスで大きな影響を受けている企業に対し、以下のポイントをご提起いただきました。宮崎同友会の許可を得て、ご紹介します。（一部改変）

会員向けニュースに掲載した内容は、「中小企業家しんぶん3月25日号」にも掲載

知財の考え方にもとづき、WEB版のニュースでは割愛させていただきます。ご了承ください。

2. 少し先も見越して自社事業の柱を考えよう、手を打ち始めよう

～ 地域の中小企業家の連帯で、この局面を乗り越えよう！～

(1) 今後この状況が1年つづくと考えて、自社の足腰強化と貸し倒れも見込んだ対応を

すでに報道されているように今回のコロナウイルスの影響は、地域の企業を廃業・倒産に追い込む事態となっています。1の具体的な対応策のなかから、すぐにでも必要な手をうち、自社の足腰を守りましょう。また今後、連鎖倒産も危惧されます。与信管理とともに、最悪の場合として貸し倒れも見込んだ資金の余裕を確保しましょう。

No2とNo3では宮城と宮崎の中小企業家同友会からの情報をお伝えしました。打開策の相談、仕事の融通など、地域の中小企業家の知恵と連帯で、この局面を乗り越えていきましょう！

(2) 自社の事業領域を広げるチャンスに

奈良同友会では、2019年度には「10年後の自社の事業領域を考えよう」というテーマを掲げ例会や経営指針づくりで学びあいを行ってきました。東日本大震災で地域の縮小が早送りされたと言われるかもしれませんが、今回は全国で同じ状況が起こりつつあります。これまでの事業がずっとそのままうまくいくことはありません。今、地域社会や生活における新しい困りごとや業界構造の中での課題が浮き彫りになってきています。この状況だからこそ、ぜひ自社の付加価値を高める視点で周りを見回し、次の事業の柱のヒントをつかみ、会員の連携も生かして形にしていきましょう。地域の中小企業家の実践と連帯で、この局面を乗り越えよう！

地域の中小企業家の連帯で、この局面を乗り越えよう！



奈良県中小企業家同友会

奈良市東向中町6 奈良県経済会館 407号

TEL: 0742-25-5660 FAX: 0742-25-5666

MAIL: info@nara.doyu.jp